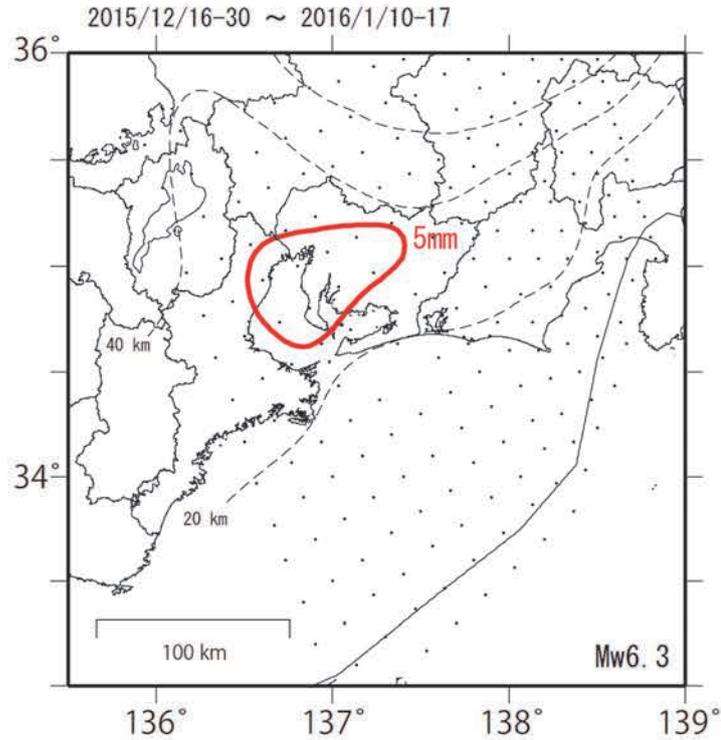


東海地方の非定常的な地殻変動（2）

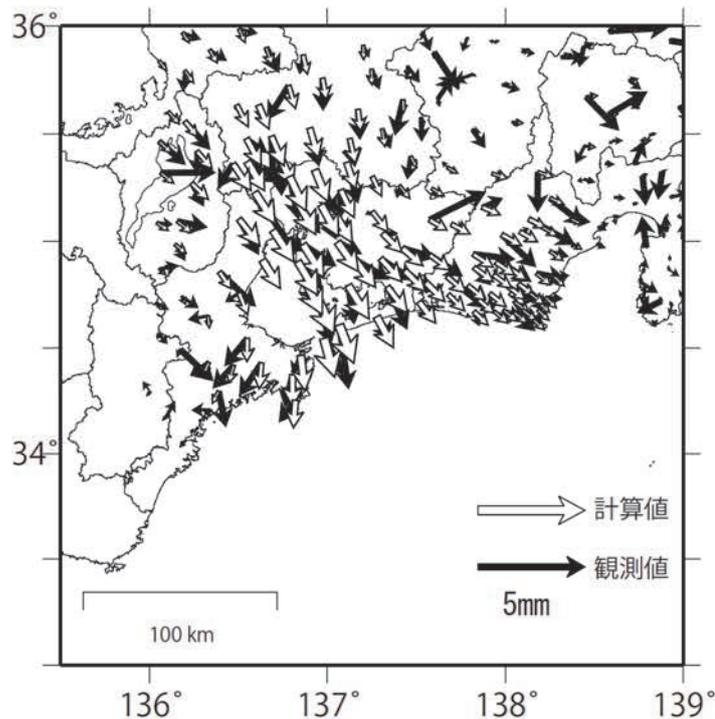
フィリピン海プレートと陸側プレートの境界で最大約7mmの滑りが推定された。

非定常地殻変動から推定されるプレート境界面上の滑り分布



- ・ 矢吹&松浦の方法による。
- ・ 推定される滑り量を等値線（赤実線）で示している（等値線間隔：5mm）。
- ・ 黒破線は、沈み込む海側プレート上面の等深線。

地殻変動ベクトルの観測値と計算値の比較（水平）



固定局：三隅（950388）

図 17 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の非定常的な地殻変動から推定されるプレート境界面上のすべり分布及び地殻変動ベクトルの観測地と計算値の比較（水平）

国土地理院